

ひもルンぱ♪

むずび座



構成・美術／D・ハーン
演出／安藤勝司
音楽／高光浩一

みなさん、ひもで遊んだことってありますか？ひもって、ぐにゃぐにゃしたり、ピンとひっぱったりすると、いろんな形ができておもしろいですよね。

あやとりをしたり、ひもを使って絵を描いたりして遊んでいるうちに、ひもでできた人形たちがおはなしをはじめます。さあ、山をこえ、海をわたり、冒険の旅に出発だ！

シンプルな「モノ」を使ったダイナミックでユニークな表現は、観ている子どもたちの想像力、創造力を刺激します。きっとすぐに自分たちでも遊んでみたくなるでしょう。

まほうねずみの シュッポ

『まほうねずみのシュッポ』
作／おの りえん
絵／大島英太郎（福音館書店刊）より

脚色／入江靖子
演出／塩沢久美
美術／長谷川真代
音楽／八幡美佳

シュッポは子どものまほうねずみです。「シュッポ ラン ポラン ポン！シュッポ ラン ポラン ピーツ！」。花をぼっと咲かせます。

ある日シュッポは、大人のまほうぐまが病気のおじいさんタヌキのために、枯れた木をよみがえらせて真っ赤なりんごを実らせる場面に出会います。

「まほうぐま、すごいなあ」。

まほうぐまの様になりたいと思ったシュッポが、あちこちで魔法を使い始めると…。

さあ、シュッポはりっぱなまほうねずみになれるでしょうか？

自分よりも大きなものや優れているものに憧れる気持ちは、小さな子どもにとって大切な成長の糧になります。

子どものシュッポが魔法ぐまに憧れて大きくなろうとする姿や、友達のために頑張ることで成長する姿を描きます。

